

実験走行に関するお願いと注意事項

つくばチャレンジ実行委員会

【お願い】

つくばチャレンジは、普段から市民が通行している遊歩道や車道（横断歩道）、側道、あるいは、市民がくつろいでいる公園、広場を利用しておこなう自律ロボットの実験です。ここで**最も重要なことは、一般の皆様には迷惑を掛けないこと**です。実験する人がすべて、それを理解し心掛けることができるという前提で市街地での実験が実現しています。このことに十分にご配慮下さい。

つくばチャレンジは同時に、技術の現状を参加者同士、また一般の市民に知ってもらうことも目的としています。そのためできる限り**情報を公開するという原則**で運営しています。こちらについてもご協力をお願いします。

【注意事項】

■持ち物の管理およびバックヤードでの作業について

当日、搬入したロボットやPC、テント等の持ち物について、**事務局は盗難等の責任は一切負いかねますので、各チームにて保管・管理**をお願いします。持ち物には可能な限りどなたの所持品であるかわかるように明示をお願いします。

チーム毎にバックヤード3m×3mの区画を割り当てます。ロボットの開発や調整等に関する作業は、できる限りこの区画で行ってください。特に**遊歩道や人が頻繁に通る場所をふさいで作業をすることは厳重に慎んでください**。

日射しや雨などを避けるため、バックヤードには簡易テントを張ることは良い方針ですが、以下の点にご注意ください。

- 突風などによりテントが飛ばされる恐れがあります。**テントの脚に重りをつける等、しっかりと固定**するようお願い致します。（重り等で固定が出来ない場合、テントを離れる際にはテントをたたんでから離れて下さい。）
- テント内は公開して、テント内での作業内容が互いにわかるように配慮してください。テントの周囲をふさぎ目隠しをすることはできるだけ避けてください。
- バックヤードに電源はありません。必要な電源は各自で準備して下さい。ただしエンジン付き発電機を用いる場合は、騒音や排気ガス臭などで市民やほかの参加者に不快感を与えないよう、ご注意ください。

■安全管理責任者の仕事内容について

安全管理責任者は自律ロボットの実験を安全に行うために必要な存在です。安全管理責任者を設けることによって、警察署から実験の許可を得る事ができています。その事を十分に理解して、安全管理を行ってください。特に以下の点にご注意願います。

- 安全責任管理者は**事務局配布のベストと腕章と帽子（赤）の着用**を徹底してください。
 - ベストと腕章は、本走行終了後に返却願います。帽子はお持ち帰りください。
- 安全責任管理者はロボットの**動作確認等のオペレーションには参加しない**でください。

- 安全責任管理者が実験走行の様子を写真や動画で撮影することはやめてください。
 - ロボットの周囲の状況を確認するのが安全管理責任者の役目です。前方から来る人や自転車、通路の脇にいる人などに留意し、ロボットのオペレータに声掛けをよくおこなって安全の維持につとめてください。必要ならば、市民への声掛けもおこない、事故などの未然防止をはかってください。

■市民との交流について

公道でロボットの自律走行実験を行うためには、市民から理解を得ることが大切です。今後もつくばチャレンジを継続するためには、多くの市民につくばチャレンジに興味を持ってもらうことが重要となってきます。市民の方が実験の様子に興味をもっているように感じられた際は、ロボットの性能について説明する等の交流をはかってみましょう。

■ロボットのナンバープレートについて

ロボットには事務局指定のナンバープレートをつける事が必須となっています。以下の点に注意してください。

- ロボットのナンバープレートは事務局から事前に送付したデータを原寸大のまま印刷して使用してください。※大きさを変更しないでください。
- ナンバープレートは2ヶ所以上に設置してください。
- 取り付け高さは地上 0.2 m 以上としてください。

■名札について

全ての参加者に名札の着用をお願いしております。予め事務局からメールにて配布したフォーマットで名札を作成していただき、事務局から配布した名札ケースに入れて名札を着用してください。

■実験開始前の受付と実験終了後の報告について

実験走行を行う際には、毎回必ず受付にて実験開始の登録を行うようにしてください。事務局が安全に実験管理をするのに必要となるのでご協力をお願いいたします。

■横断歩道の走行について

今年度も、信号付き横断歩道での走行実験を行います。十字路にある横断歩道の横断が設定され、右左折をする自動車が存在し、つくばチャレンジとしては初めての経験となります。これに対応した実験条件が設定されています。横断歩道での走行手順を確認し、横断歩道では特に安全に配慮してください。事故の未然防止にご留意ください。

■熱中症対策について

実験走行日（特に 6 から 8 月）は気温が高くなる可能性があるため、水分・ミネラル補給や服装の調節等の熱中症対策を心がけてください。